令和5年度自己評価結果

1. 幼稚園の教育目標

・情操を豊かにし、優しい心を育てます。

・健康で元気な、心の安定した子どもらしい子どもに育てます。

・友達との集団生活に素直に入ってゆける基礎をつくります。

・自分で考え、判断し、行動することが出来るようにします。

・正しいことばを使い、ありがとうの言える子どもに育てます。

1. 重点的に取り組む目標や計画

　　・安心感を持って園生活を送り、様々な経験を通して、お友達とのつながりを感じなが

　　　ら達成感や充実感を味わう。また、自主性を大切にしながらやり遂げることを通して自信を持つ。

　　・他者を思いやる心、良好な人間関係への基盤を作る。

1. 評価項目の達成及び取り組み状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価項目 | 取り組み状況 |
| （1）保育の計画性 | ・園内研修や他クラスとの合同活動などを通して、お互いの保育を見合うことで自らの保育を振り返り次への学びに繋がっている。また、様々な視点で子どもを見ることが出来るので、保育計画に繋げていかれるようにする。  ・子ども達が発見し、意欲を持ったその時を大切にできるような環境構成を大切に考えていく。また、安全性なども十分に配慮し環境構成を再確認していく。  ・年数の浅い職員もいるので、園の教育理念や教育方針をきちんと確認し、共通理解をしたうえで、時代や環境・その時の子どもにあった保育計画を立てるよう努めていく。 |
| （2）保育の在り方・幼児への対応 | ・コロナもだいぶ緩和され、他クラスとの混合の活動を積極的に取り入れたので、異年齢同士の交流を深めることが出来、色々な内容で活動を楽しむことが出来た。このような時だけでなく普段から異年齢同士の関わりが多くもてるので引き続き大切にしていきたい。  ・少人数ということもあり職員間での協力や連携をより大切に、クラスの枠を超えて園全体の子どもとの関わりを大切にしている。  ・約束事など伝える際など否定的な言葉掛けではなく、子ども達がしっかりと理解し納得して行動できるような言葉掛けや対応を大切にしていく。 |
| （3）地域の自然や社会とのかかわり | ・地域探検などを通して、地域の皆様と挨拶をかわしコミュニケーションを図ったり、自分たちが過ごしている地域により親しみや関心を持てたように感じる。  ・年長さんの栽培活動から発展し、子ども達が実際に地域のお味噌屋さんへお味噌を買いに行かせて頂き、それを使ってお味噌汁作りを行った。他のクラスのお友だちも観察できるところでお味噌汁作りを行っていたのでみんな興味を示し、更にお裾分けももらい園児全員を巻き込んでの楽しい活動となった。  ・気候のいい時は出来る範囲で積極的に園外へ出かける計画を入れていく。その際、安全面には十分気を付けるよう職員全体で認識を持って取り組むよう再確認を怠らないようにする。 |

1. 総合的な評価結果・次年度への取り組み

・今年度は他クラスとの交流を例年よりも多くもてるよう計画をして取り組んだ。その結果、少人数制ということもあり普段から異年齢同士みんな仲が良いが、よりお友だちとの関係が深まり遊びや活動にも広がりがみられた。また、職員間でも、他の職員の保育を間近で見る事により自分の保育の振り返り・学びとなったことが多かったように思うので、これからも大切にしていきたい。

・子ども達の思い付きややりたいと思う気持ちを大切に、子ども達が主体となって考え・行動し活動を進めていくことの大切さを日々感じるので、私たち保育者はその思いを実現に向かっていかれるよう見守りつつ適切な援助や指導ができるよう努力していきたい。

・子ども一人一人の個性を尊重し、みんなで認め合える仲間となれるよう、そして何より子ども達が安心して毎日を楽しく過ごせるよう、職員全員で協力しながらこれからも努力していく。